

内閣総理大臣 岸田文雄殿
厚生労働大臣 武見敬三殿
環境大臣 伊藤信太郎殿
防衛大臣 木原稔殿

2023年10月24日
日本共産党東京都委員会
日本共産党東京都議会議員団
日本共産党区市町村議員団

有機フッ素化合物（PFAS）による地下水・水道水汚染から住民の命と健康を守る要望

発がん性、妊婦の生殖への影響、低出生体重などの可能性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が、多摩地域を中心に都内の井戸水、水道水から検出されています。東京都環境局によれば、鳥しょを除く都内 53 自治体のうち少なくとも 38 自治体がアメリカの環境保護庁が示した規制値案の基準を超える事態となっています。市民団体が行った血液検査でも、約半数が米国の基準を超える深刻な事態が明らかになっており、汚染状況の調査、危険性、リスクについての科学的知見と基準の確立、汚染源の特定と対策は急務となっています。

特に、横田基地近くの立川市の井戸では国内暫定基準の 27 倍もの高濃度の汚染が確認されています。横田基地では、PFAS が含まれている泡消化剤の漏出事故が 2010 年以降少なくとも 3 回あったことが明らかになっており、横田基地への立入検査は強く求められます。

「地下水が美味しいところだと思って住んできた。子どもたちにも飲ませてきた。健康被害が生じると分かってショックだ」と、住民からは不安と怒りの声が広がっています。全国各地で問題となっている PFAS 汚染から住民の命と健康を守るために、政府として責任を果たすことを強く求め、以下の点を要望します。

記

- 一、住民の健康調査を行い、血中濃度の基準を作ること。住民の血中 PFAS 濃度の検査を政府として行うこと。
- 一、水道水の水質基準を強めること。土壌についての基準を定め、対策を行うこと。
- 一、政府として、PFAS による地下水汚染の原因調査を行うこと。独自に調査を行っている自治体に、財政的な支援を行うこと。
- 一、科学的知見に基づいて PFAS の危険性、リスクについて住民への情報提供と注意喚起を行い、汚染状況についても情報提供を徹底すること。
- 一、泡消化剤の漏出が明らかとなっている米軍横田基地への立入検査を求めること。

以上